

令和 4 年 度  
宮崎国際大学 教育学部  
一般推薦 I 期

試 験 問 題  
【小 論 文】

受 験 番 号
氏 名

## 教育学部 小論文

「大人になつたらなりたいたいものに『会社員』と答える小学生が目立っている」ことが新聞に取り上げられています。それによると、第一生命保険の「大人になつたらなりたいたいもの」の調査（以前は保育園・幼稚園、小学1～6年生が対象。昨年からは小学3年生以上）では、「男子は野球選手とサッカー選手が1、2位を占める年が大半。女子は、食べ物屋さんやパティシエなど、食べ物に関連した職業が97年以降、トップを維持」していたのが、昨年、「会社員」が男子の1位、女子の4位に初めて入ったとのこと。2位は、男子がユーチューバー、女子が教員。3位は男子がサッカー選手、女子が幼稚園の先生・保育士です。

宮崎県出身の漫画家東村アキコさんは、求められた意見（文章）のなかで、「大切なのは、幼い頃から夢を持つことです。もっと教育現場でその大切さを教えるべきでしょう。」と述べています。東村アキコさんの言う「夢」とはどのようなものをまとめ、あなた自身は「夢」をどのように考えるか、また教育現場で夢や希望を持つことの大切さをどのように教えたか、600字以内で述べてください。

小学生になりたい職業を聞いた調査で、男子の1位が会社員というのは信じられません。「大人向けに用意した答え」で、本音はSNSで語っているような気もしますね。

もしかしたら、コロナ禍で在宅勤務する親を間近に見て「ラクそうだ」と思ったのかもしれませんが、会社員は決して安定した職業ではありません。知り合いの会社員は、会うたびに会社が変わっています。

会社員志向は、職業や肩書で人の価値を決める風潮が最近、強まっていることも影響している気がします。私は漫画家という比較的、自由な職業なだけに、息苦しさを感じてしまいます。

漫画家になると決めたのは小学生のとき。純粋に絵を描くのが好きだったからです。調査で漫画家は女子の5位、男子は10位以下ですか？ 3位までには入っていると思っていたので、寂しいですね。

最近の若い世代は、「夢」について尋ねられると、就きたい職業を思い浮かべる人が多い。だから、「東京タラレバ娘 シーズン2」（東村アキコ著）の女性主人公は、「人生でかなえない夢は」と問われ、「やりたい仕事」を連想する、という設定にしました。

でも、よく考えると、おかしい話です。仕事が自分に合っているかは実際、働かないと分からないからです。そして、夢を仕事で実現できる人はほんの一握りです。

私は実際、夢を仕事にしたものの、やめたり挫折したりする人をたくさん見てきました。仕事とは、しょせんお金を稼ぐための手段に過ぎません。人間は夢を持たないとダメですが、仕事とは関係ないものでなくてはならない、と思います。私の夢は、海辺の景色のいいところに一軒家を建てて暮らすこと。不動産情報を入手して、いろいろと考えるだけで幸せです。夢は持つだけでなく、何歳までに達成すると時間を区切って生きるべきです。その点、最近のアラサー女性に、将来の夢も持たず、現状に満足する傾向が強まっていることは気がかり

です。

大切なのは、幼い頃から夢を持つことです。もっと教育現場でその大切さを教えるべきでしょう。夢を持つためにはまず自分の心の声を聞く。これまでの経験を思いだしたり、映画やドラマを見て刺激を受けたりするのもいいでしょう。周りの大人のダメだという否定の声には耳を傾けないことも大事です。

(2021年7月1日 朝日新聞 聞き手 笠井政基)

令和 4 年 度  
宮崎国際大学 教育学部  
一般推薦Ⅱ期

試 験 問 題  
【小 論 文】

受 験 番 号
氏 名

## 教育学部 小論文

〔設問〕 原裕美子さんは、2005年に名古屋国際マラソン優勝、世界選手権6位、2007年に大阪国際女子マラソン優勝、2010年北海道マラソン優勝という実績を持つ「日本を代表する元マラソン選手」でした。そんな原さんが万引きで逮捕されたというニュースは世間に衝撃を与えました。そこにはマラソンの体重管理から来る問題があったようです。以下はそれについて述べた文章（聞き書き）です。これを読んで、原さんがこのような状態に陥った原因を簡潔にまとめ、あなたが子供の運動（例えば、体育の授業、部活、保育園や幼稚園での体を使った遊びなど）に関わる立場になったとき、どのようなことに気をつけ、どのような指導を心がけたいと思うか、600字以内で述べてください。

### 〔資料〕

Q 朝日新聞は今年2月、陸上の強豪大学で、体重管理の厳しさから摂食障害に苦しむ女子部員が続出した実情を報じました。どんな印象を受けましたか。

「自分も同じでした。夜、寮を抜け出すことも、安くて量が多い食べ物を買うことも、京セラ時代、私は監督やコーチに監視されていたに等しく、いかに見つからないで抜け出すかを考えていました。外出時は遅くなると問い詰められるので、速攻で目に付いたものを買う。スーパーは値引きの時間を狙いました」

Q 体重管理はそんなに厳しかったのですか。

「高校時代は、自分が一番良い走りができる44キ（身長163センチ）が目標でしたが、食べて走る指導でした。それが京セラでは42、43キでないと重いと言われ、1日4～6回ある体重測定の間が増え幅も制限されました。社員食堂での昼食も、定食だったのが、うどんやそばに。それも半玉だけ。社員の方たちが食べるパスタやサンドイッチを見ているだけで、舌が手になっているような感じで、『食べたい、食べたい』と。自分のスイッチが狂っていききました」

Q 過食・嘔吐はどのように始まったのですか。

「水ですら我慢していて、炭酸飲料を一口のつもりが1リットル飲んで風呂に入って吐いてしまい、結果的に体重も減ったことがきっかけです。『食べたら吐けばいいんだ』と。初めは怒られないためでしたが、体重が落ちて走れるようになると、今度は吐かずにはいられない。気持ちをコントロールするための行為に変わっていききました」

Q 栄養を体内に取り込めないで、けがの多さにつながったのですね。

「それに気づいたのは引退前です。もう遅くて」

Q 陸上の中長距離は、軽量化で記録は上がる。どうすれば体重管理と健康のバランスはとれますか。

「体脂肪や筋肉量など中身をみたくうえで体重測定をしてほしいです。ただ軽ければいいのではないのです。日本サッカー協会のようなライセンス制度を陸上競技もつくれば、指導の質は上がると思います」

Q 高校駅伝の過熱化からか、子どもも無理な減量を強いられることが懸念されています。

「走ることが好きということを大事にしてほしい。小中学時代は、親がつくったものを好き嫌いなく、感謝しながら食べる時期です。中3になると、進路もあるので記録を伸ばしたいかもしれませんが、若いうちは練習をすれば伸びるので、体重管理は必要ないと思います。高校で体重管理の要素が出て、やはり走ることが好きというものを大事にしてほしい」

「メンタルトレーナーがいるといいと思います。そういう人がいれば、食べ吐きを打ち明けられたかもしれないし、未然に抑えられたかもしれない。といっても、メンタルトレーナーをつけられるのは大学や実業団くらいでしょう。小中高では先生や保護者が、何でも打ち明けられる環境をつくるしかないと思います」

Q 近著「私が欲しかったもの」(双葉社)で、2007年に初めて万引きしたと明かしています。大阪での世界選手権に出た年です。その後、7度の逮捕。18年に執行猶予付きの有罪判決を受けました。万引きと過食・嘔吐はどうつながるのですか。

「私の場合は食べ物への執着心がものすごく、大量に買うことが恥ずかしい、吐く物にお金を使うのがもったいない、と思いました。コントロールできた時もあったのですが、万引きもやめられなくなってしまいました」

Q 著書にはどんな思いを込めましたか。

「テレビで摂食障害が治った人の事例が出てきたのですが、治った過程がわかりませんでした。神経活動に働きかける治療法や、どう環境を変えたのか、そして、どんな人たちに助けられたのか、自分の経験を伝え、同じく悩んでいる人たちの手助けになれたらいいなと思っています。今も食べ吐きは、強くストレスを感じた時、『危ない』と思うことがある。そんな時、親身に話を聞いてくれる人たちに助けられています」

2021年4月16日 朝日新聞(聞き手編集委員・中小路徹)

\*現在は事務の仕事をしてながら、居酒屋で接客のアルバイトもする。「それが楽しみなんです。おかみさんも大将も常連さんも、私の過去を知っても変わらず接してくれる。自分を肯定できるようになりました」

注 ライセンス制度 日本サッカー協会主催の指導者養成講習会の修了者に、日本サッカー協会公認ライセンスが付与される